

礼文の森から

宗谷森林管理署
礼文森林事務所



レブンアツモリソウ群生地の今



枝払い作業
(平成30年10月)

礼文町を代表する観光地の「レブンアツモリソウ群生地」では、レブンアツモリソウが芽吹きやすくなるよう、平成30年に林野庁及び礼文町共同で光環境整備（枝払い、ササ刈り等）を行いました。

森林事務所では、追跡モニタリング調査を行っていますので今回は経過を紹介します。

右の写真は、経過観察のため設置した調査プロット（1m×1mの正方形）の整備前後の写真です。鬱蒼としたトドマツ林の枝払いをした結果、光が地面に届くようになり、新たに草本が出現するようになりました。

残念ながら、レブンアツモリソウの発芽はまだ確認されていませんが、今後も引き続き観察します。



平成30年9月
撮影プロット
(左上：開空写真)



令和元年7月
同箇所撮影
(右下：開空写真)



スキーで山を散策 near 久種湖

礼文島の冬は厳しいですが、山スキーを使って散策する楽しみが加わります。

休日に礼文島北側にある久種湖近辺の国有林を散策すると、夏とは違った礼文島の姿を見ることができ、雪に覆われた礼文の山々の美しさは一見の価値があります。

今年は少雪のため、ササが所々に顔を出し雪も締め固まっておらず、ササの生育箇所を歩くと時々陥没しますので、スキーで散策を楽しむ方はなるべく道にそって滑るようにしましょう。



この辺り



久種湖西側国有林から
礼文岳方面